

## 研修【シラバス】

福祉研修センター

1 研修事業名	平成 30 年度アセスメント研修 ―記録から根拠に基づく実践をめざして―
2 事業目的・ねらい	<p>福祉現場における記録は、利用者へ適切なサービスを提供した証拠であり、支援の経過を積み重ねることにより、利用者の変化やニーズをとらえ、より適切な支援・援助へ結びつくことができます。そのためには、適切な内容を記録に残し、チームで共有することや利用者理解にむけたアセスメントの視点がとても大切です。</p> <p>本研修では、利用者支援に関わる記録に焦点をあて、基本的知識・技術やアセスメントの手法を学ぶことで対人援助職としてスキルアップすることを目的に開催します。</p>
3 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 援助記録に関わる基本的知識や原理原則、記録の役割について理解する。</li> <li>・ 記録の方法について学ぶとともに、自分自身が残した記録を見直し、適切な表現や、観察ポイント、留意事項などを理解する。</li> <li>・ 援助記録から、利用者の変化やニーズをとらえる視点を学び、今後の支援について検討する。</li> </ul>
4 対象者	県内社会福祉施設・事業所における中堅職員 定員 40 名程度
5 科目名	平成 30 年度アセスメント研修 ―記録から根拠に基づく実践をめざして―
6 講義担当者名	佐久間志保子氏（和泉短期大学 准教授）
7 講義の日程	3 月 22 日（金） 10 時～16 時
8 時間数	6 時間（休憩 1 時間含む）
9 講義の方法	講義・演習
10 科目のねらい	利用者支援に関わる記録に焦点をあて、記録に関する基本的知識・技術と支援に活用する視点を学ぶことで対人援助職としてスキルアップする
11 科目の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉現場における記録とは（記録の必要性、目的、役割）</li> <li>・ 記録の方法（観察ポイント、留意事項、主観的事実・客観的事実）</li> <li>・ 介護記録から支援方法について検討する</li> </ul>
12 使用テキスト	講師作成のレジュメ
13 使用教機材	パソコン、プロジェクター
14 その他	<p>研修当日に、利用者 1 名分の介護記録（1 日分）を持参いただきます。</p> <p>※詳細については、受講決定時にご案内します。</p>